

感謝の気持ちを大切に

平成29年9月9日(土)、金屋文化保健センターで開催した石蔵文信さんの人権講演会。皆さまは「夫源病」をご存じですか？

『夫源病』の名付けの親 石蔵さんの講演会に参加して

夫の無神経な立ち振る舞いや言動が原因で、妻が体調不良になることを「夫源病」と呼ぶそう。

夫婦は、お互いを理解しているよ
うで、実は理解し合えていないことが多い。定年後などの中老年の夫婦にとって、妻の病の原因のほとんどは夫からのストレスだという。

「そんなことはない。定年まで仕事一筋でやってきた分、今は妻をいたわりながら、ずっと一緒に過ごしている。近所でも評判のおしどり夫婦だ」という男性もいるだろうが、それは夫の独りよがりだ。一つ屋根の下で、何十年か結婚生活をしてきたとしても、男性に職場という環境があったのと同じく、女性にも近所付き合いや趣味の仲間という個別の環境が生まれている。
「亭主元気で留守がいい」というの

は、妻にとって理想の環境。せっかくできたその環境に、定年を迎えた夫が入り込むのはストレスでしかない。仕事一筋だった夫ほど、定年後はやたら妻に付きまとい、干渉する傾向にあるという。

これまで仕事をバリバリやってきて、家庭を顧みなかった夫が、定年やその他の理由で会社を離れると、やることがない。一緒に過ごす人もいない。「オイ」「ハイ」で動いてくれる部下も、ゴルフにつき合ってくれる取引先や同僚もない。自然、長年一緒に暮らしてきた妻に「付きまとう」と称して「わしも族」。

妻がデパートやスーパーに行くのに「わしも」と言って付いて来る。スーパーに行くと、並んで歩かず、前や後ろに夫がいれば、だいたいその夫は「わしも族」だそう。わしも族にならぬ方法は、男も、自分のことは自分ですること。料理ができること、やる人が少ないから、尊敬されるんだとか。

また、アンケート結果を踏まえて、石蔵さんはユーモアを交えて話してくれた。「7割の妻が夫への愛情が



(右写真) = 講師としてお招きした石蔵文信さん (左写真) = 会場の様子

ないという。年を重ねれば愛情は深くなると思っていたが、それは違う。愛より情です。奥さんに愛を求めるのではなく、情を求めるようにして生きていくと無難です」「結婚して5年以内に夫のことがいやになる奥さんは56%。愛情は、子どもが生まれるとそっちに移るんです。離婚は意外にも子どもが0〜2歳の時が1番多い」「経済的な心配がなければ64%の奥さんが離婚すると答えている。予防法は、金をにぎっておくこと」などの話に、会場は大い

に沸いた。

夫婦仲良く楽しく元気で暮らすために「男性はメンツやプライドが高い。頭を下げる練習を」「もっと『ありがとう』を言うようにして」「誕生日と結婚記念日は最低限覚えておく」「料理教室に通うなど、できるだけ奥さんへの依存なしに自立できるように」など秘訣を挙げてくださった。夫にとっては恐ろしい、妻にとってはためになるお話であった。

人権機関有田川 水野哲男

お知らせ

人権特設相談所

2月15日(木)、人権特設相談所を開設いたします。相談は無料で、秘密は厳守されます。

- 場所 / 清水会館
- 時間 / 13時〜16時

2月25日(日) 人権映画会を開催!

詳細は今月号の広報ありだがわ「お知らせ」23ページをご覧ください。

■人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課
TEL 522-2111
FAX 321-4827